

東日本大震災復興支援 第 29 回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会 2016 大会概要

1. 大会名称 東日本大震災復興支援
第 29 回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会 2016
2. 目的 (1) 各都道府県間の交流の活性化を図り、併せて中学生の競技力の向上を目指す。(強化)
(2) 各地区・各チームのリーダーの育成を図り、中学校のバスケットボールの一層の普及を目指す。(普及)
3. 主催 公益財団法人日本バスケットボール協会
4. 主管 東京都バスケットボール協会、埼玉県バスケットボール協会、千葉県バスケットボール協会
一般社団法人神奈川県バスケットボール協会、越谷市バスケットボール協会、市川市バスケットボール協会
浦安市バスケットボール協会、横浜バスケットボール協会、川崎市バスケットボール協会
5. 後援 スポーツ庁、公益財団法人日本中学校体育連盟
東京都教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、神奈川県教育委員会
越谷市教育委員会、市川市教育委員会、浦安市教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会
東京都中学校体育連盟、埼玉県中学校体育連盟、千葉県小中学校体育連盟
神奈川県中学校体育連盟、朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社
6. 協賛 (予定) アシックスジャパン株式会社、株式会社 明治、東武トップツアーズ株式会社、株式会社ピーアンドピー浜松
株式会社モルテン、ゼビオグループ
7. 大会期日 平成 28 年 3 月 28 日(月)・29 日(火)・30 日(水)
8. 大会会場 東京体育館、越谷市立総合体育館、上尾運動公園体育館、市川市塩浜市民体育館
浦安市運動公園総合体育館、横浜文化体育館、川崎市とどろきアリーナ
9. 参加資格 (1) (公財) 日本バスケットボール協会に競技者登録された選手であること
(2) 各都道府県代表および開催地代表選抜男女各 1 チーム。開催地代表チームは各都道府県チームと
同じ扱いとする
(3) 都道府県代表チームは、(公財) 日本バスケットボール協会に登録された中学校の生徒で、各都道府県の
定める方法により選抜された複数校の 1・2 年生の選手で構成する
(4) 開催地代表の編成は開催都道府県に一任するが、上記 (3) および下記 10 (編成) の規定を準用すること
10. 編成 選抜チームの編成にあたっては、次のことに厳守すること
(1) チームの編成はスタッフ 3 名(コーチ、アシスタント・コーチ、マネージャー) および選手 12 名以内とする。
但し、スタッフのうち最低 1 名は中学校の教員とすること。また「ベンチで指揮を執る者」は、有資格者
(JBA 公認 C コーチ以上) であること
(2) 選手の選抜方法は、各都道府県の定める方法によるが、単に学校の大会成績のみでなく、真に選手の
力量によって選抜すること
(3) 選手の選抜にあたっては、各協会は管下の都道府県全域にあまねく目を向け、最強の都道府県中学生
選抜チームを編成すること
(4) 1 校からの選抜は、最多でも 4 名までとすること
11. 競技規則 現行の(公財) 日本バスケットボール協会競技規則による
12. 競技方法 大会第 1 日 参加チームを 16 ブロックに分け予選リーグを行う
大会第 2 日 各ブロック 1 位チームによる決勝トーナメント 1・2 回戦
大会第 3 日 決勝トーナメント準決勝戦、決勝戦
13. 表彰 (1) 優勝チームには、(公財) 日本バスケットボール協会より優勝杯を、
1~3 位には(公財) 日本バスケットボール協会より賞状楯およびメダルを授与する
(2) (公財) 日本バスケットボール協会より優秀選手賞および最優秀選手賞を授与する